

# 九重町地域公共交通計画（案）概要

計画  
P3-9

## ■計画の概要

計画  
P1

### ●背景・目的

現在運行している鉄道、高速バス、路線バス、コミュニティバス及び一般タクシーなどについて、住民の通勤、通学、買い物、通院等に考慮した利便性の高い公共交通網の構築が必要。本計画は、住民が多様な交通手段を選択できる交通ネットワークの構築を目指し、地域の特性を考慮した地域公共交通の再編を行うため、地域公共交通のマスタープランとなるもの。

●計画期間 2024（令和6）年4月～2029（令和11）年9月

●対象地域 九重町全域

## ■現在の地域公共交通が抱える問題点・課題

### 公共交通の現状・課題

- ・低い公共交通利用率（利用者の減少）
- ・公共交通に対する財政負担額の増加
- ・利便性の高い交通体系の構築
- ・利用促進につながる情報発信の取組
- ・運賃に関する負担感の地域間格差解消
- ・観光客へのアクセスの構築

### 地域の現状・移動ニーズ

- ・移動販売による買い物支援は一定程度普及
- ・通院は、将来的な不安を抱える高齢者が一定数存在
- ・70歳代の高齢者でも、高い自家用車免許保有率
- ・年齢が上がるにつれ、公共交通の必要性を実感
- ・地域によっては、公共交通の必要性を強く感じる傾向

### 社会的なニーズ

- ・交通事業者の運転者不足・運転者高齢化への対応
- ・輸送資源の総動員による持続可能な公共交通網の構築

## 『誰もが移動しやすく、人とひとの交流が活発になる公共交通の実現』

～「連携」と「最適化」で、心地よく安心して暮らせる九重町～

計画  
P10-14

### （1）様々な交通モードの連携強化による 利用しやすい地域公共交通網の構築

鉄道、バス、タクシーなど様々な交通モードを活用し、地域の実情に適した多様な移動サービスを展開。交通手段の連携を強化すると共に乗継改善を図り、効率的で利便性の高い地域公共交通網を構築。

### （2）利用者の多様化するニーズに応じた移動手段の確保

地域公共交通の維持・存続を図るため、サービス水準と利用状況に著しい乖離がある場合には、サービス内容の見直しを実施。利用者ニーズに合わせた公共交通の運行状況などのデジタル化を促進。

### （3）地域を支える持続可能な運行体制の構築

移動手段を途絶えさせないためにも、交通事業者の乗務員不足等の問題解決に向け、事業者と連携強化。デジタル化を促進し、持続可能な運行体制を構築。

### （4）関係機関・団体と連携して多様な機会を 活用した積極的な利用促進施策の推進

地域公共交通をより多くの方に活用してもらうため、利用意識の醸成（モビリティ・マネジメント）、わかりやすい情報提供など、各種媒体や多様な機会を通じた利用促進。

## 新しい地域公共交通計画のポイント

- ポイント① 幹線（定時定路線）を維持しつつ、4地区毎（支線）に**デマンド型運行等の柔軟な移動サービスへの転換**
- ポイント② 利用者の利便性向上と運行管理の簡易化に向けて、**DX化を検討**
- ポイント③ **交通事業者の人材確保に向けた新たな支援策の検討**

# 九重町地域公共交通計画（案）概要

計画  
P22-23

## ■実施事業

**(1) 様々な交通モードの連携強化による効率的で利用しやすい地域公共交通網の構築**

- (1-1) 住民・来訪者の移動に対応した幹線バス路線の運行
- (1-2) 九重町コミュニティバスと鉄道・高速バス等との接続改善
- (1-3) 公共交通のDX化による利便性向上
- (1-4) 観光施策と連携した移動サービスの提供

計画 P16-17

**(2) 利用者の多様化するニーズに応じた移動手段の確保**

- (2-1) 地域内路線のデマンド運行等の柔軟な移動サービスへの転換
- (2-2) 通学利用に対応した移動サービスの提供
- (2-3) 町内全域を対象とした新たな運賃体系の検討
- (2-4) 公共交通のDX化による利便性向上【再掲】

計画 P18-19

**(3) 地域を支える持続可能な運行体制の構築**

- (3-1) 公共交通の持続的な運行に向けた人材確保支援
- (3-2) デマンド運行システムの導入等による運営体制の効率化

計画 P20

**(4) 関係機関・団体と連携して多様な機会を活用した積極的な利用促進施策の推進**

- (4-1) 地域住民との意見交換会等による利用促進  
(意見交換会、利用体験会の開催等)
- (4-2) 観光施策と連携した移動サービスの提供【再掲】

計画 P21

## ■計画達成に向けた取組指標

数値指標	現状値 (R4年度)	中間値 (R8年度)	目標値 (R11年度)
九重縦断線利用者数 (人/年)	23,019	23,690	24,400
デマンド型交通利用者数 (人/年)	152	4,160	4,160
コミュニティバス利用者数 (人/年)	25,754	27,850	28,560

数値指標	現状値 (R4年度)	中間値 (R8年度)	目標値 (R11年度)
コミュニティバス利用者数 (人/年)	25,754	27,850	28,560
コミュニティバスの運行収支率 (%)	9.0	10.5	12.0

数値指標	現状値 (R4年度)	中間値 (R8年度)	目標値 (R11年度)
住民一人当たりの公共交通（コミュニティバス）の財政負担額 (円/年)	4,525	5,000	5,305
デマンド利用者におけるICTを活用した予約者割合 (%)	—	5	10
資格取得支援制度の活用件数 (累積)	—	—	3

数値指標	現状値 (R4年度)	中間値 (R8年度)	目標値 (R11年度)
公共交通の利用率 (%)	6	—	10
意見交換会の開催回数 (回/年)	4	4	4
紅葉シーズン大吊橋乗降客数 (人/月)	587	734	880